

いのち ひろば

連載

(46)

毎月1回、中旬の水曜日に掲載

今月のひとこと
コロナのワクチン接種をしましょう。三密を避けましょう。あなたとわたし、みんなで守りましょう。

地域医療の歩みと恩恵

—新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) に対応— (前編)

小田原医師会
(感染症研究会)
神山 務

(感染症対策委員会)

神山 明美



地域に根ざして

小田原医師会の歩みは長い、今、活躍されている医師の曾祖父の頃からの歩みがあります。約50年前ごろ、地域医療という言葉が盛んに言われました。その頃、地域医療の担当理事の鈴木重光先生(現在93歳)が、地域医療は何か、何が大切かを説いてくれました。

その後、鈴木重光先生は副会長、会長をされ地域医療を実現しました。その一つに休日夜間診療所があります。他各種健診制度、予防接種制度、介護保険制度、訪問看護制度、病診連携等、沢山のことがあり、これらを実現し、今は実行されています。

今の医師会は14年前より感染症研究会、感染症対策委員会を持つています。現在、医師会で総力を挙げ、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に対応してPCR検査、予防接種を

早く、もっと多くの気持ち

していますが、これも地域医療の一環です。長い歴史の中のトピックなことで、先の見えない流行の波が続き、日常の健康維持の慢性疾患に対する薬は大切です。内服を続けて欲しいです。

休日夜間急患診療所の発足と運営

休日に子どもが急病になったときに困っています。一部の開業医の先生が診て下さっています。また、子どもも多く、病気が多い時代です。夜間にはかかりつけの先生がいないと特につらくなります。

今は個別接種の他、集団接種や職域接種もすすめて、順調に予防接種を進められています。限られたワクチンが無駄なく、平等に効率よく接種を進めています。

市民から見ると、市民の命の安心安全に役

に立ってました。「市民の命を大切に」という市政が支えでし

「市民の命を大切に」という市政が支えでし

「市民の命を大切に」という市政が支えでし

「市民の命を大切に」という市政が支えでし

「市民の命を大切に」という市政が支えでし

「市民の命を大切に」という市政が支えでし

「市民の命を大切に」という市政が支えでし

「市民の命を大切に」という市政が支えでし

「市民の命を大切に」という市政が支えでし

「市民の命を大切に」という市政が支えでし

「市民の命を大切に」という市政が支えでし

「市民の命を大切に」という市政が支えでし

「市民の命を大切に」という市政が支えでし

「市民の命を大切に」という市政が支えでし

「市民の命を大切に」という市政が支えでし



発熱外来

発熱外来を設けて、患者様の救済を図ります。発熱外来を設けて、患者様の救済を図ります。発熱外来を設けて、患者様の救済を図ります。

新型コロナウイルス対策

皆様の一人一人の行動が新型コロナウイルス拡大予防につながります

手洗い消毒、マスクの着用、適切な換気、密接を避ける、医師に相談、オンラインシステムの活用

小田原医師会より 住民の方々へ

①現在、何らかの理由で通院している方は、自己判断で通院(お薬)を中断しないでください。現在治療中の病態が保てなくなることで、病態そのものが悪化し、さらに体調が不安定になることで感染のリスクが高くなり危険が増します。処方薬のうけとり方はかかりつけ医と相談できますので問い合わせてください。

②感染症と思われる「体調不良」がみられるとき、特に肺炎など呼吸器症状があるときには、慌てて受診せず、右記の手順でかかりつけ医または近医に問い合わせてください。

不安な毎日を送られていると思いますが、協力してこの窮状を乗り越えましょう。

医療機関検索は **小田原医師会のサイトから利用できます**

小田原医師会の医療機関検索 <https://www.odawara.kanagawa.med.or.jp/>

医療機関検索は **小田原医師会のサイトから利用できます**

小田原医師会の医療機関検索 <https://www.odawara.kanagawa.med.or.jp/>